

創生ジャーナル Human and Society

第7巻

2024年3月

巻頭言：「創生」への敬意	村松正吾	1
特集：地域と観光Ⅱ		
【特集緒論】趣旨と課題：「観光立国推進」政策の現段階と課題	渡邊洋子	4
【特集論文】広域連携と宿泊税の導入 ——長野県広域連合と雪国観光圏推進協議会を事例に——	藤巻一男	9
【ヒアリング調査報告】地方都市の観光行政と観光戦略 ——金沢市役所・金沢市観光協会へのヒアリング調査報告——	編集委員会	19
【ヒアリング調査報告】図書館におけるデジタルアーカイブ事業 ——石川県立図書館「SHOSHO ISHIKAWA」担当者へのヒアリング調査報告——	編集委員会	35
【調査報告】「くかねやま『村の肖像』プロジェクト」番外編『奥会津の冬』を描こう！」報告	田中一裕・榎本千賀子	48
自由投稿論文		
【論文】韓国型公開オンライン講座（K-MOOC）の展望と課題 ——運営計画に基づいて——	鄭漢模・琴善暎	58
【論文】主体性の育成を目指した陶芸体験授業における実践的研究 ——陶芸作家の視点から見た学校現場における課題と陶芸体験授業の成果——	栗山貴之・阿部雅也	67
【インタビュー記録】防災／災害教育における担い手育成の現状と課題 ——イギリス防災教育研究者への聞き取りから——	渡邊洋子	83
【授業実践報告】2023年度 訪中団報告 ——「地域・国際交流 B」を通じた創生学部の実践的な学び—— 堀籠崇・平井聖人・山岸虹太・本間仁子・立川みなみ・周婉婷・田中一裕・渡邊洋子		89
編集規程		
編集後記		

『創生ジャーナルHuman and Society』 編集規程

2018年2月

1. 本誌は、新潟大学キャリア創生研究会（仮）が発行する自由投稿論文誌であり、1年1巻発行する。
2. 本誌は、主に新潟大学キャリア創生研究会のメンバー、および本誌への掲載を希望する他の創生学部教員の教育・研究に関する未公開の論文の発表にあてる（注）。
3. 本誌には、特集、自由投稿論文／研究ノート、実践・調査・研究会報告などの欄を設ける。
4. 論文の投稿にあたり、その著者のうち1名は原則として創生学部担当教員であることを要する。ただし、編集委員会が必要と認めた場合は創生学部担当教員以外の投稿も可とする。
5. 本誌に掲載された論文の著作権は新潟大学キャリア創生研究会（仮）に帰属する。ただし、著者個人による利用は、出典を明示すればこれを妨げない。
6. 本誌の編集は編集委員会が行う。
7. 投稿論文は編集委員会が論文の査読を行い、掲載の可否を決定する。
8. 編集委員はキャリア創生研究会において選任する。
9. 編集委員会には委員長1名および編集委員をおく。

（注）未公開の論文とは、過去に国内外の雑誌または書籍（電子書籍を含む）に掲載されていない論文を指す。国内外の学会における口頭発表、機関リポジトリで電子的に公開した学位論文、および各種研究助成費による研究報告書に掲載された内容を論文化した投稿は可とする。

『創生ジャーナルHuman and Society』 執筆要項

2018年2月

1. 論文は、問題（目的）、方法、結果、考察（結論）、引用文献からなることを原則とする。ただし、必要に応じて別の形式でも可とする。
2. いずれの論文も刷り上がり20頁以内とする。ただし、編集委員会が認めた場合は、これを超えることも可とする。
3. 原稿には、本文のほか、著者名（所属）、標題、要約（日本語500字以内）、キーワード（5つ以内）もあわせて記述する。
4. 投稿の際には、そのまま印刷が可能ないように作成したファイル（Microsoft Word）を提出する。
5. 原稿はA4判縦置き・横書きとし、本文は2段組で24字×45行、枚数は20頁以内とする。ページの余白は上下25mm、左右20mmとする。
6. 各ページには、ページ番号を記載すること。
7. 投稿論文は常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔、明瞭に記述する。
8. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には初出の時にその旨を明記する。
9. 表と図は必要最小限とし、本文との重複、および図表間の重複は避ける。
10. 表の題はその上部に、図・写真の題は下部に書く。説明文はいずれも下部に記す。
11. 注は原則として脚注とし、通し番号をつける。謝辞や科学研究費などの助成金に関する脚注は、題目につける。
12. 引用文献は論文の最後に、著者名のアルファベット順に一括してあげる。
13. 原稿作成において、本要項に定められていること以外の詳細については、論文の内容や著者の専門領域にあわせていずれかの学会誌の規定に従うこととし、原稿の中で統一させる。

執筆者一覧（掲載順）

村松 正吾（新潟大学）
渡邊 洋子（新潟大学）
藤巻 一男（新潟大学）
榎本 千賀子（新潟大学）
田中 一裕（新潟大学）
鄭 漢模（三重大学高等教育デザイン・推進機構）
琴 善暎（ソウル大学校大学院教育学科）
栗山 貴之（越後焼 妙高赤倉窯／妙高体験工房）
阿部 雅也（上越教育大学 学校教員養成・研修
高度化センター）
堀籠 崇（新潟大学）
平井 聖人（新潟大学）
山岸 虹太（新潟大学）
本間 仁子（新潟大学）
立川 みなみ（新潟大学）
周 婉婷（新潟大学）

編集委員（アルファベット順）

堀籠 崇
並川 努
渡邊 洋子

編集後記

『創生ジャーナル Human and Society』の第7巻発行に際し、関係各位のご協力とご配慮に感謝申し上げます。第7巻では前巻に引き続き地域と観光をテーマに特集を組みました。今回は前回取り上げた雪国観光圏（広域連携による地域観光ブランド形成）の調査結果を踏まえ、広域連携の枠組みにおいて宿泊税を導入した場合に想定される課題について論じた特集論文のほか、魅力的な観光資源に恵まれ、これまでに多くの観光客を惹きつけてきた金沢市を対象として行った調査報告などが収録されています。

金沢での調査は2023年3月に行われたものです。調査のおよそ10ヶ月後の2024年1月、石川県の能登地方を中心に最大震度7の地震が発生し、多くの犠牲者を出す痛ましい災害となりました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご復興をお祈り申し上げます。（編集委員一同）

創生ジャーナル Human and Society

2024年3月31日発行

編集 創生ジャーナル Human and Society 編集委員会

発行 新潟大学キャリア創生研究会

表紙デザイン 安田 舞耶

ISSN 2434-284X

